



2021年（令和3年）年頭のあいさつ 石垣市長 中山 義隆 新年 明けまして おめでとうございます。

新年あけましておめでとうございます。

市民の皆様におかれましては、夢と希望に満ち溢れた令和3年の新春を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。また、平素より、市政の運営に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、世の中の話題は「新型コロナウイルス感染症」一色であったように感じます。同感染症は、瞬く間に世界各地に広がり、多くの尊い命が奪われるなど未曾有の社会的・経済的影響を与えました。石垣市を含め観光産業を中心とする沖縄県経済は、大きな打撃を受けるなど今なお苦境に立たされており、一日も早い終息を心から願うばかりです。

一方、八重山高等学校が2020沖縄県高校野球夏季大会において悲願の初優勝を果たすなど明るい話題もございました。夢の甲子園出場は叶わず残念でしたが、郡民、そして全国各地の郷友に夢と希望を与えてくれました。また、延期により今夏開催されます東京オリンピック・パラリンピック競技大会の自転車ロード種目日本代表に、本市出身の新城幸也選手（3大会連続）が内定いたしました。世界の名立たるトップアスリートを相手に大舞台での活躍が期待されるところです。

市政に目を向けますと、市民待望の市役所新庁舎建設工事が順調に進んでおり「みんなが集う石垣市のランドマーク」として本年中の開庁を予定しています。市役所庁舎移転後の跡地利用につきましては、地域のにぎわいの創出に資するよう、市民と来訪者が交流する拠点を目指し、公民連携による整備を進めてまいります。また、本市は昨年7月「SDGs未来都市」及び「自治体SDGsモデル事業」に選定されました。今後は、策定した「SDGs未来都市計画」に基づき、2030年のあるべき姿に向け各施策を着実に展開してまいります。そのほか、待望のゴルフ場建設につきましては、地域未来投資促進法に基づく基本計画について国の同意が得られました。引き続き関係機関と連携し、早期着工に向け官民あげて取り組みを進めてまいります。

本年も、医療・福祉・教育の充実はもとより、離島が抱える課題解消に向け、先導的な事業の実施・展開を図り、活気と魅力に満ちた「日本一幸せあふれるまち『石垣市』」を目指し取り組んでまいります。市民皆様のご支援、ご協力を賜りますよう心からお願い申し上げます。

結びに、市民各位の益々のご健勝とご多幸を心から祈念申し上げ、新年寿ぎのごあいさつといたします。